

候補者からの回答						
候補者名 (敬称略、五十音順)	推薦政党名	Q1: 貴殿は、このたびの東京都知事選挙の公約に動物福祉にかかわる事項を掲げていますか？	Q2-1: ペット産業の適正化のために、生後8週(56日)齢まで子犬・子猫を生まれた環境から引き離すことを禁じる「8週(56日)齢規制」を「東京都動物の愛護及び管理に関する条例」に盛り込むことについて	Q2-2: 「東京都動物愛護相談センター」を、現状のどちらかと言えば「抑留し殺処分させる」施設から、ドイツのティアハイムのような「保護し譲渡する」施設へと転換し、殺処分をなるべく減らしていくことについて	Q2-3: 犬や猫を飼おうという際、ペットショップ以外に、保護犬・保護猫を飼うという選択肢があることを東京都として普及啓発していくことについて	Q3: 東京都の、ひいては日本の動物福祉を向上させるために、貴殿が必要だと考えている政策がほかにあれば、下記に自由にご記入ください。
鳥越俊太郎	民進党、共産党、社民党、生活の党と山本太郎となかまたち、緑の党グリーンズジャパン、市民の声ねりま	(選挙公約では「多様性を尊重する多文化共生社会をつくります」と訴えています。今はマンション暮らしで飼うことができないのですが、以前、犬を飼っていたことは楽しい思い出です。私は聞く耳をもって、都民のさまざまな意見を聞き、動物福祉に関する政策にも取り組んでいきたいと考えています)	実施したい (ペット産業の適正化については、賛成ですが、条例に盛り込むべき内容については、知事になったら、さまざまな意見を聞いて、考えたいと思います)	実施したい (「保護し譲渡する」という方向については賛成であり、殺処分をなるべく、減らしていくことについては、実施したいと思います)	実施したい (よい取り組みだと思うので、普及・啓発を進めていきたいと思います)	以前、番組でも取り上げたことがあります。殺処分を減らしていくためには、やはり飼い主が最後まで責任を持って、しっかりと面倒を見る必要があると考えています。 尊い命が、人間の身勝手によって奪われることは、本当に残念でなりません。 私は聞く耳をもって、都民のさまざまな意見を聞き、動物福祉に関する政策にも取り組んでいきます。
中川暢三		掲げていない	実施したい	実施したい	実施したい	
増田寛也	自民党、公明党、日本のことを大切に作る党	掲げている	(国の動向を注視する)	実施したい	実施したい	